

FTTB、FTTHに最適なメディアコンバータ

FXC3001Fは、10/100BASE-TX RJ-45ポートと、100BASE-FX WDMポートを装備し、RJ-45とファイバを変換する簡易なCPE装置です。

最長15キロの光ファイバー接続を確保し、ファイバ・トゥ・ザ・ビルディング (FTTB) やファイバ・トゥ・ザ・ホーム (FTTH) の宅内に設置します。



主な機能

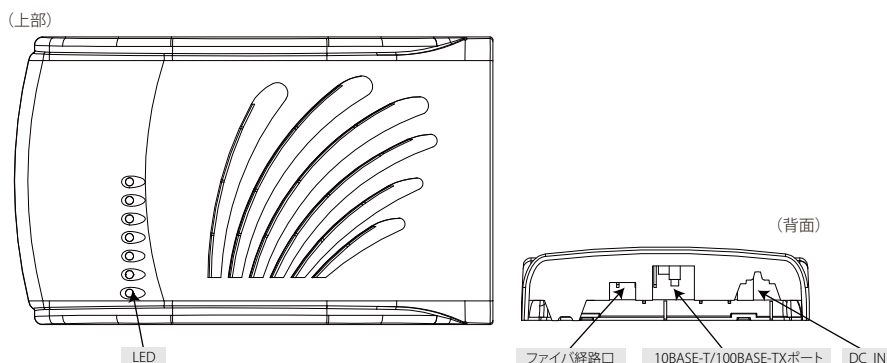
- 低消費電力設計 最大5W以下の消費電力
- ファイバは装置内部にスプライスコネクタを装備
- 1芯双方向接続が可能 SMF@1310nmの送信 SC/SPC
- 各LEDにて装置異常や接続確認ができます
- ストア&フォワードで転送にてエラーフレームを転送しません
- MACアドレス学習数は最大2000個
- 最大フレーム長は1535Bytes

仕様FXC3001F

標準規格	IEEE802.3, IEEE802.3u, IEEE802.3x		
データ転送速度	10/100 Mbps (CSMA/CD)		
ファイバポート	100BASE-FX シングルポート×1ポート SC/SPCコネクタ @1310nm 接続距離: 15Km		
ファイバ入出力	送信レベル: -8 ~ -14dBm 受信レベル: -8 ~ -30dBm		
イーサネットポート	10BASE-T/100BASE-TX x 1ポート (MDI/MDI-X自動切替) Duplex Full/Half Auto Negotiation		
使用ケーブル	100BASE-FX	9/125um SMF (ITU-T G.652)	
	10BASE-T	UTPカテゴリ3以上	
	100BASE-TX	UTPカテゴリ5以上	
機能	スイッチングモード	ストア&フォワード方式	
	スループット	100M⇔100M	148,800pps (64Byte)
		10M⇔10M	14,880pps (64Byte)
	総帯域幅	125Mbps	
	バッファ容量	196Kbyte/unit	
MACアドレス登録数	2K個 (最大)		
最大フレーム長	1535byte		
リンクバースルー	Enable		

LED表示/ボタン	本体	PWR (緑/橙)、Diag (緑/橙)
	ポート RJ ポート ファイバ	Link/Act (緑/橙) LoopBackTest 点灯
電源	定格入力電圧/周波数	AC100-240V、50/60Hz
	最大入力電流	1.0A
	最大消費電力	5W
	最大発熱量	4.3Kcal/h
環境条件	動作時温度/湿度	0°C~50°C/5%~90% ※結露なきこと
	保管時温度/湿度	-40°C~70°C/90%以下 ※結露なきこと
外形寸法	110mm (W) × 180mm (D) × 35mm (H) ※1Uサイズ	
	重量	0.5kg
適合性	EMI規格	VCCIクラスB
信頼性	MTBF	230,335h (25°C 常温時)
同梱物	ACアダプタ、ゴム足4個、マニュアル、保証書	

外観図/各部の名称



お問い合わせ先

FXC株式会社

e-mail: sales@fxc.jp http://www.fxc.jp